学校番号	2004

令和８年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　地学基礎　（啓林館）						
副教材等	センサー地学基礎　4th Edition　（啓林館） 新課程　二訂版　スクエア最新図説地学　二訂版（第一学習社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地学基礎では、窓の外を眺めるといつでも見える空や雲、道を歩けば落ちている岩石、このような身近な事物・現象から、謎の多い地下深くの世界、宇宙の果てまで、私たちが暮らす地球と宇宙について広く学びます。日本列島は地震災害や火山災害が多く、季節や場所によって天候は様々変化に富んでいます。世界でも有数の地学大国といえるこの国に住むにあたって、自然科学の基礎知識だけでなく、過去の地球の様子についても、理解するようにしましょう。それによって、これからの地球について主体的に考えて行動できるようになるのが目標です。

２　学習の到達目標

(1) 地球のすがた、地球の活動、地球環境について体系的に理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、計算、実験などの基本的な技能を身に付けるようにする。
(2) 日本の地学的な特徴を理解し、それらがもたらす恩恵や災害など「自然環境と人間生活との関わり」について探究する力を養う。また、地球史と宇宙史について学習した知識を活用して、「これからの地球」について探究する力を養う。
(3) 地球環境の変化の仕組みを理解するとともに、それらの現象と人間生活との関わり、および自然災害について深く理解し、主体的に関わりながら、科学的に探究しようとする力を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	身近にある自然について、日常生活や社会との関連を図りながら、基本的な概念や原理を深く理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	身近にある自然や、時には災害を引き起こすこともある自然との共生について、見通しをもって観察、実験などを行い適切に表現することができるなど、科学的に探究している。	身近にある自然や、時には災害を引き起こすこともある自然との共生について、見通しをもって振り返りを行うなど、自分事として学び、主体的に探究しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	惑星としての地球	A 地球の概観 ①地球のプロフィール ②地球の大きさと形 ③【探究】地球の大きさを測定しよう！ ④地球の偏平率 ⑤地球の表面 ⑥地球の内部構造 ⑦【探究】地球の構成物質の密度を測定しよう！	a:地球の概観について、地球の大きさ、形、偏平率、表面の凹凸、内部構造の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録など基本的な技能を身に付けている。 b: 地球の大きさや地球の構成物質とその密度について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 c:地球の大きさや地球の構成物質とその密度に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	レポート ノート
	活動する地球①	B プレートの運動 ①プレートテクトニクス ②プレート境界 ③プレートの運動 ④地震 ⑤地震波 ⑥地震の分布 ⑦火山 ⑧火山の分布 ⑨【探究】国土地理院地図を利用して火山の形を考えよう。	a: 日本の地学的な特徴(火山活動や地震)をプレートの運動と関連付けて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録など基本的な技能を身に付けている。 b: 日本の地学的な特徴(火山活動や地震)について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 c: 日本の地学的な特徴(火山活動や地震)に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 レポート	レポート ノート

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期	活動する地球②	C 岩石の循環 ①岩石の分類 ②火成岩の組織 ③火成岩の分類 ④風化作用 ⑤堆積岩の分類 ⑥変成岩の分類 ⑦【実習】岩石・鉱物の観察	a:岩石の分類、形成過程、循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録など基本的な技能を身に付けている。 b：岩石サイクルのエネルギー源について、観察、実験などを通して探究し、科学的に考察し、表現している。 c:岩石サイクルのエネルギー源に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査 レポート	レポート ノート
	太陽系と宇宙	D 宇宙史・地球史 ①宇宙の誕生 ②太陽系の誕生 ③太陽系の天体 ④地球の誕生 ⑤地質時代 ⑥古生物の変遷 ⑦【実習】化石の観察	a:太陽系を含む天体の成り立ちについて、基本的な概念や原理を深く理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本操作や記録など基本的な技能を身に付けている。 b:太陽系を含む天体の成り立ちについて、見通しをもって観察、実験などを行い適切に表現することができるなど、科学的に探究している。 c:太陽系を含む天体の成り立ちについて見通しをもって振り返りを行うなど、自分事として学び、主体的に探究しようとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート レポート	レポート ノート
	地球史の読み方・活動する地球	E 地球史の読み方 ①流水による地形 ②地層の形成 ③堆積構造 ④地層の読み方 ⑤自然災害の特徴 ⑥【実習】地震波の分析 ⑦自然災害との共生 ⑧地球環境	a:地質や自然災害について、基本的な概念や原理を深く理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験に関する基本操作や記録など基本的な技能を身に付けている。 b:地質や自然災害について、見通しをもって観察、実験などを行い適切に表現することができるなど、科学的に探究している。 c: 地質や自然災害について、見通しをもって振り返りを行うなど、自分事として学び、主体的に探究しようとしている。	定期考査 レポート	定期考査 レポート	レポート 提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度